



西洋古代哲学研究

総合教育センター (生命環境学部兼務)
准教授 大草 輝政 (おおくさ てるまさ)

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 2408号室
Tel 0824-74-1732
E-mail tohkusa@pu-hiroshima.ac.jp
(※ @は半角に置き換えてください)



専門分野： 西洋古代哲学

キーワード： ソクラテス, プラトン, アリストテレス, 知識論,
対話

● 主な取り組み・活動

西洋古代哲学を研究しています。具体的な活動は次のようなものです。

1. プラトン著『メノン』は、珠玉の対話篇として評価が高く哲学的にも多大な影響をおよぼした作品ですが、現在その翻訳に取り組んでいます。解説・注解つきで公刊される予定です。
2. プラトン哲学が、思想史的にどのように受容されているか（アリストテレスから現代にいたる哲学において、どのように受け入れられ、あるいは批判されてきたか）について調査し、さまざまな角度からプラトン哲学の意義の再発掘を試みています。最近では、20世紀後半に英米で起こった古代哲学研究の新潮流について調べ、分担執筆を担当しました（「プラトンと分析哲学」『プラトンを学ぶ人のために』所収）。
3. 英書翻訳もおこなっています。単訳として『プラトン〈一冊でわかる〉』、共訳として『古代ギリシア・ローマの哲学：ケンブリッジ・コンパニオン』、『スクリブナー思想史大事典』があります。

● 今後の目標・抱負

引き続き、西洋古代哲学の研究と、その成果を生かした教育に取り組んでいきます。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

西洋古代哲学というと、縁遠いものと感じるかもしれません。しかし「ただ生きるのではなく、よく生きる」とはどういうことかを追究するソクラテスの問いは、時空を超えて私たちの心に響くだろうと思います。「ソクラテス・メソッド」「ソクラティック・ダイアログ」などのアイデアの提供源でもあるプラトンの作品群（対話篇）を読みたいという方は、ぜひご相談ください。その他、ギリシア・ローマの思想・文化・歴史に関するご興味があれば、調査・研究をおこない、講座などを通じて、地域のみなさまにお知らせします。

● これまでの連携事例・実績

- ・ 言語文化生涯学習講座（H25年度～）
- ・ H26年度県立広島大学公開講座（「大人のための高校講座」）
- ・ H30年度県大・市大公開講座（「言語を通じて世界を知る」）

など